



2／セミナー 韓国「江陵市都市再生フォーラム」に招聘 ガンヌン

日時 冷和元年11月27日(水) 13:00~17:00

場所 韓国 江原道 江陵市

韓国の都市再生ニューディール政策

2017年、ムン・ジェイン政府が始めたこの政策は、日本の「地域創生」と似ているようでも似ていません。「地域創生」が都心部の人口を地方に分散し、地域力を育てていくための政策に対し、「都市再生」は衰退した地域を、地域住民の「自治」により復活させたいというのが政策です。しかし、韓国の都市再生は結局、インフラ整備の側面が強いです。その現状に、韓国の専門家

から心配の声が上がっています。そこで、江陵市では、国内外の先進事例を学ぶことで、より市民のための政策にしたいという思いから、「江陵市都市再生フォーラム」を開催したようです。

今回、そこに私が招かれ、筑波大生時代からの取り組みから、小美玉市での地域づくりについてお話しをしてきました。

このフォーラムでは、地域のリーダーの方々へ約120名が参加され、「都市再生」

政策の全般的な内容から、国内外の事例を踏まえたセミナー、最後は市民のワークショップが行われました。このフォーラムをきっかけに、住民に、より政策への興味を持つてもらい、積極的に関わってもらえるよう、頑張っていきたいと関係者は言っていました。これからの活動が楽しみです(李)!

※ 当日の動画はこちらから
<https://cutt.ly/Trymtnl>



3／日韓Column 長男が生後6ヶ月を迎えるました♥



▲ハーフバースデーのゴロウちゃんと、箱根旅行!

経済産業省・特許庁の
「デザイン経営」に対応した

デザイン経営 顧問サービス

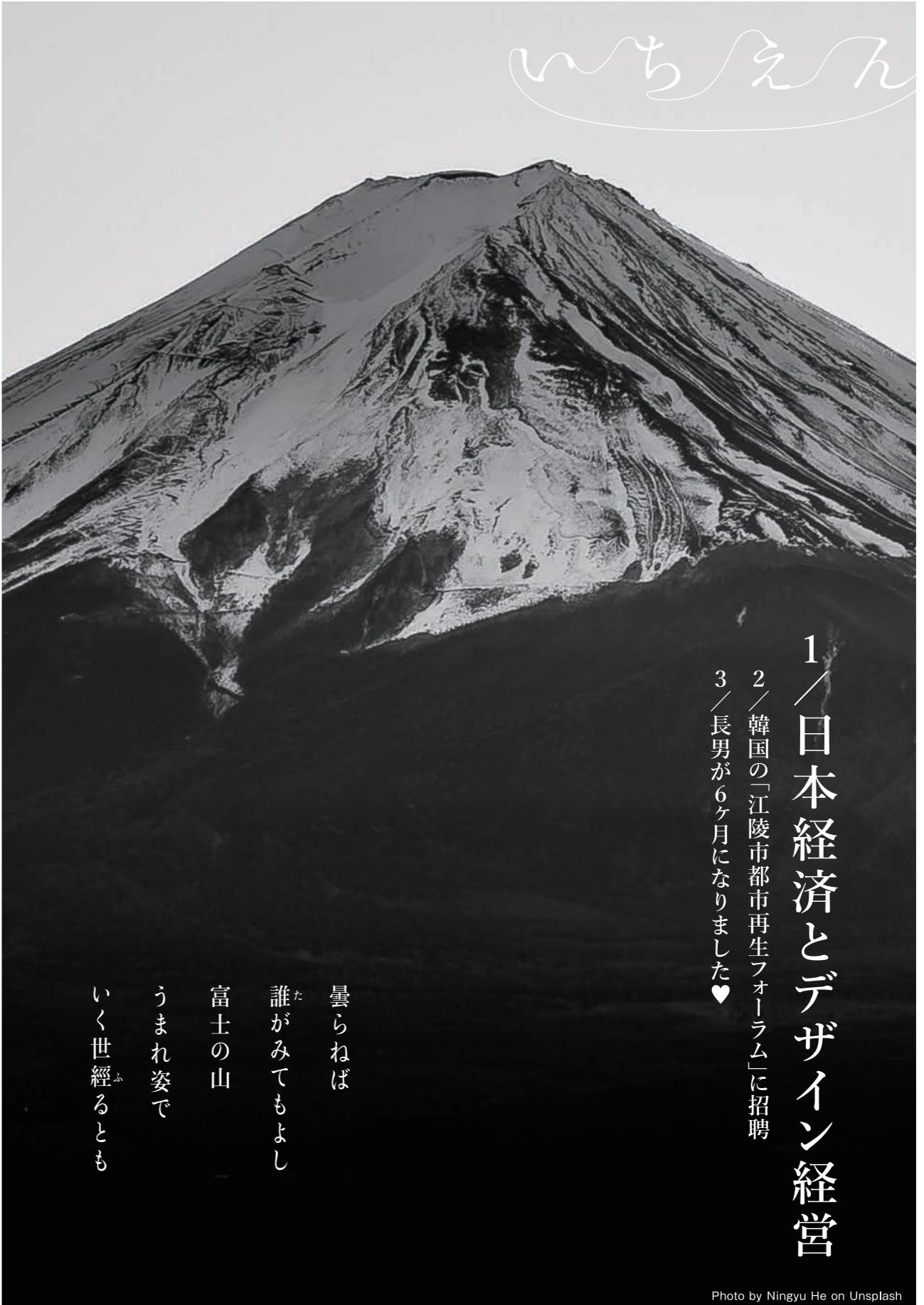
デザイン経営のノウハウを
毎月9,700円で無制限で提供
無料相談24時間受付中



www.ichien.asia

デザインとデザイナーには
現状打破を支援する力があります。
継続的な顧問サービスを是非ご利用ください。

いく世
富士の山
うまれ姿で
曇らねば
誰がみてもよし



1／日本経済とデザイン経営

2／韓国「江陵市都市再生フォーラム」に招聘
長男が6ヶ月になりました♥

Photo by Ningyu He on Unsplash



1/ いちえんColumn

代表取締役
坂本 健介

日本経済とデザイン経営

日本経済、あなたはどう見る?!

あけましておめでとうございます。2019年は多くの方のチャレンジのお手伝いをしました。そして、第一子の誕生から多くを感じ、学んだ年でした。

さて、2020年は東京オリンピックが開催される年ですが、経済的な視点では厳しい見方がされていますので、少し触れたいと思います。

アベノミクスと東京オリンピック開催に伴うインフラ整備等によって数年前から地価は上がり、不動産のプチバブルが起きています。国土交通省発表による不動産市場価格の動向を表す不動産価格指数は57ヵ月連続上昇という事です。と

ころが、2019年末には住宅設備最大手のLIXILは、早期希望退職者の募集を開始。

給湯器などで有名な大手のノーリツは早期希望退職者を募りながら、そもそも住設分野から撤退を表明。新築住宅の着工件数はすでに4か月連続マイナスと

鍵を握るデザイン、しかし…

このような局面の中で日本に必要なのは新しい発想で価値を生み出していく存在が必要だと思っています。新しい発想とは、異質なもの同士を組み合わせることで生まれます。つまり、技術・人材・ハードといった要素・部分としての力を分野横断して統合する事が大事です。見えない価値を可視化させる為にはデザインの力が必要になります。そして、「デザイン」という道具を駆使して企業と向き合う

デザイナーも大事な存在になります。

2018年には経済産業省と特許庁が「デザイン経営」をキーワードに指針を出しました。本来は改めて宣言するまでもなく、50年以上前から中西元男氏が実践とともに方法論を残してくださいっています。端的に言うと、ヒト・モノ・カネに加えて+情報という要素が経営には必要で、それらをデザインの力で統合し魅せていくことで企業は自らの価値を発信出来、ファンを増やすことができるというものです。企業として高度に統合・精錬した情報発信をする必要があります。デザイナーは可視化と形にするだけでは既に力量不足で、コンテンツホルダー(所有者)になる必要があります。加えて自身のコンテンツ(著作物)を保護する能力を有して企業を導く必要があると思うのです。しかし、デザイナー側の啓発は進んでいません。私も所属する職能団体JAGDAが、今が



経済産業省・特許庁のWEBサイトより。デザイナーを経営に参画させようという内容が目立つ

んばってセミナーを開いたりしていますが、正直影響力は限定的です。奇しくもオリンピックのロゴ盗作疑惑によってデザインの著作権が一般に広く再認知されましたので、私自身、一人のデザイナーとしてだけでなく、業界の課題として向き合っていきたいですね。

森鷗外が訳した「情報」の意味とは

好き勝手に所感と持論を書きましたが、世の中を観察しながら自分なりの見解や転用できる要素を見つけていく作業は経営者のみならず、一人の大人として重要だと思います。平たく言うと、「自分

の頭で考える」ということです。また、情報とは「information」を森鷗外が「情けに報いる」と訳したのですが、膨大な情報の渦の中、自分自身の為ではなく、発信される情報を受けて世の中に「報いて(返して)いくのかが発信者に問われるスタンスだと考えます。未来の為に今出来ること、それは自分の世代以降の事をきちんと考へるということです。子供が生まれ、この子が大きくなっていくときを見据えて情報発信を含めて、出来ることをして行きたいです(坂本)



新年、箱根の蕎麦屋にて

おおきくなつたよ

ディレクター兼デザイナー
李 員交 (イウォンギョ)

2020年、心豊かな年へ

幸せは近くにあるもの…

あけましておめでとうございます。2020年が始まりました!ちょうど20年前の2000年、高3を迎え、自分の人生について初めて真剣に向き合った時を思い出します。それから、19年、16万6,440時間を過ごし、好きな仕事ができ、心強く応援してくれる夫や、大切な長男とともに、今を生きています。

改めて考えると、とてもありがたいことですね。ついつい、そのありがたさを忘れ、自分の思い通りにならない現状に腹立つ瞬間も多くありました。今、この瞬間だけの視点でみると、辛いことやネガティブになりがちな状況は多く

あるかもしれません。

しかし、少し視野を広げ、自分だと20年・30年先を、長男を考えると50年先を、その長男の子孫を考えると、100年・300年先を考えざるを得ません。そ

ういった視点で見ると、今の困難さは未來への土台となり、よい世界へつながると思っています。逆に今の心地よさはこの先の困難を招く場合もあるかもしれません。短期的な困難さより、長期的な豊かさに目を向けることが重要だと感じています。

小さい動きから始める…

近年、SDGsを念頭においた「地域づくり」「ビジネス」が基本となってきているよ

うに感じますが、今後とも、長期的に持続可能な視点を持ち、目先の利益よりも、これからの中の世代に自然豊かな地球を託し、よりよい世界へ繋いでもらいたいと考えています。

しかし、こう考えていても、2020年に私ができることは、とても小さい動きしかできないと思います。でも、まずは自分の周りから少しずつ変化をおこそうと考えたり、その動きの柱としては、「日韓相互理解・共栄」があります。

今年で、来日11年目となります。今はど日韓関係が悪化し、メディアだけでなく、身近な人達からの意識の変化を感じたことはありませんでした。



3年目となった韓国家庭料理教室の皆さんとともに♪

短期的に見ると、今の状況は非常によくないと感じながらも、長期的な視点で見ると、よく叩かれた鉄は非常に強くなることと同じように、よい関係を築き、未来をともに作る共栄関係になるためには、必要な段階なのかもしれません。

地域デザイン活動で、日韓をつなぐ

今、私ができること、やるべきことは、「日韓をつなぐ」場をたくさん作ることだと考えています。数年前から、日本での「地域デザイン活動」を韓国に伝えたり、日本で韓国の食文化を通してつながる

場を設けてきました。参加者と実際に話してみると、皆、よりよい世界で幸せに共存・共栄していきたいと願っていて、お互い考えている事はそう違ひがないことに気がづきます。多少の表現の差や背景の違いはあるかもしれません、その差を少しづつ埋めていく、架け橋の役割が私の使命だと思い、日々、活動していけたらと思います。

未来を想像すると、ワクワク♪

日本人と韓国人のハーフの長男が生まれ、さらにその思いは強くなっています。長男に父母それぞれの国に誇りを持って、活躍する未来を想像してみます。

そうすると、いつの間にか目先の不安はなくなり、ワクワク・ドキドキってきて、心豊かな気持ちになります。皆さんも心豊かな1年になるように願っています!(李)